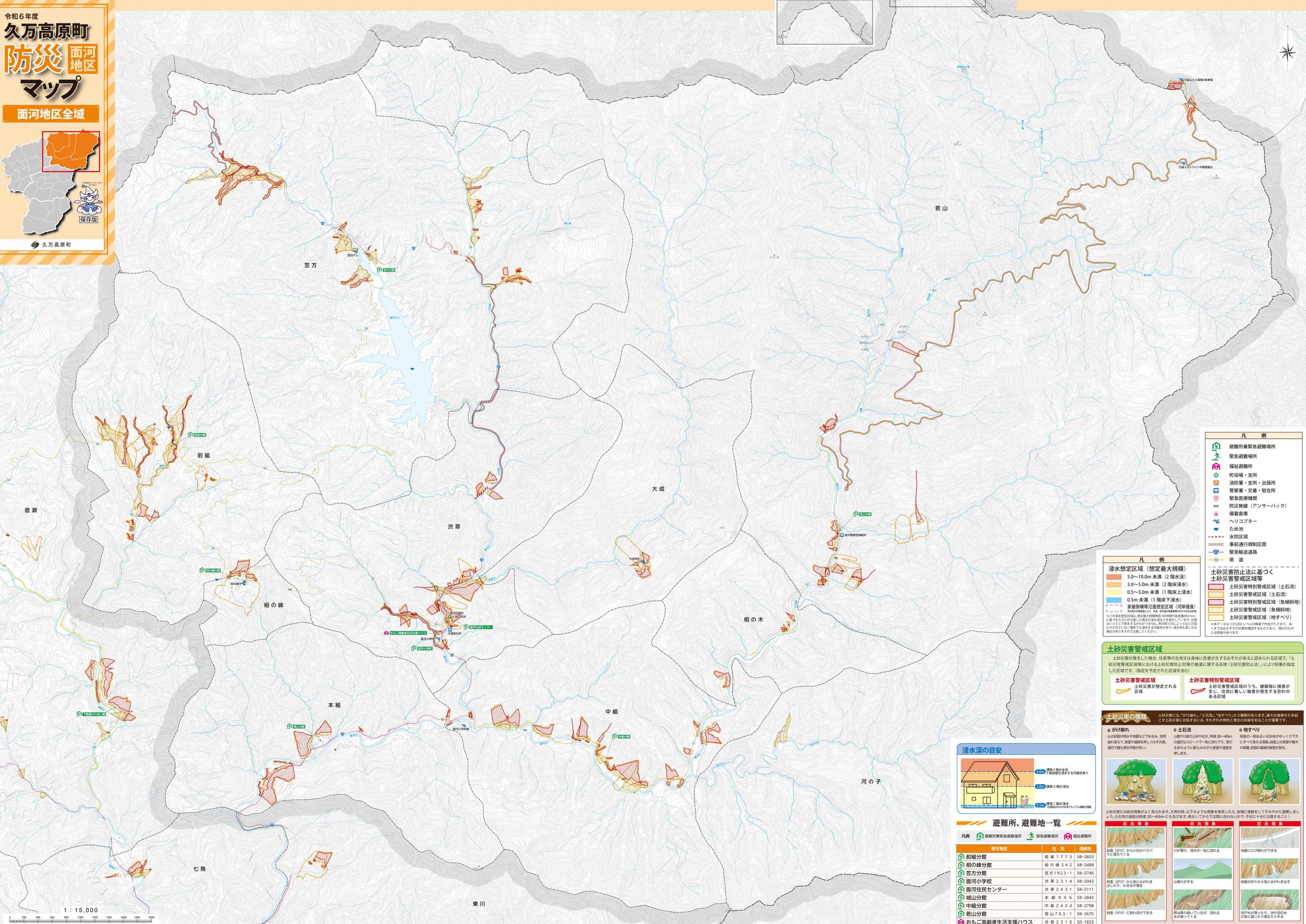


令和6年度
久万高原町
防災 面河地区
マップ

面河地区全域

久万高原町



凡例

- 避難所兼緊急避難場所
- 緊急避難場所
- 福祉避難所
- 町役場・支所
- 消防署・支所・出張所
- 警察署・交番・駐在所
- 緊急医療機関
- 防災無線（アンサーバック）
- 備蓄倉庫
- ヘリコプター
- ため池
- 水防区域
- 事前通行規制区間
- 緊急輸送道路
- 県道

凡例

浸水想定区域（想定最大規模）

- 5.0~10.0m 未満（2階水没）
- 3.0~5.0m 未満（2階床浸水）
- 0.5~3.0m 未満（1階床上浸水）
- 0.5m 未満（1階床下浸水）

土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等

- 土砂災害特別警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害特別警戒区域（急傾斜地）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜地）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

※この浸水想定区域は、想定最大規模降雨（毎時約50mm）による想定最大浸水高を算出した上で作成されています。浸水1m以上で被害が及ぶと考えられます。浸水1m未満は、浸水1m未満の浸水高を算出した上で作成されています。浸水1m未満は、浸水1m未満の浸水高を算出した上で作成されています。浸水1m未満は、浸水1m未満の浸水高を算出した上で作成されています。

土砂災害警戒区域

土砂災害が発生した場合、住民等の生命又は身体に危害が及ぶおそれがあると認められる区域で、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止措置の推進に関する法律（土砂災害防止法）により知事が指定した区域です。（指定を予定された区域を含む）

土砂災害警戒区域
土砂災害が想定される区域

土砂災害特別警戒区域
土砂災害警戒区域のうち、建築物に被害が生じ、住民に著しい被害が発生する恐れのある区域

土砂災害の種類

土砂災害には「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」の3種類があります。最大被害を引き起こす土砂災害に該当するには、それぞれの発生と発生後の対応を知る必要があります。

- がけ崩れ**
山の斜面が崩壊して土や石が落下する現象です。斜面の急峻さや土質、降雨の有無によって発生しやすくなります。
- 土石流**
山の斜面や谷間に土や石が流れ、河川に流れ込む現象です。土石流は、土石の混合体であり、非常に危険です。
- 地すべり**
山の斜面が土や石で構成された層に沿って滑り落ちる現象です。斜面の急峻さや土質、降雨の有無によって発生しやすくなります。

浸水深の目安

- 5.0m 建物2階が浸水、3階床浸水する可能性あり
- 3.0m 建物2階が浸水
- 0.5m 建物1階が浸水

避難所、避難地一覧

面河地区	住所	連絡先
前組分館	前組 1773	58-2853
相の峰分館	相の峰 342	58-2489
笠方分館	笠方 1923-1	58-2745
面河小学校	洪草 2314	58-2043
面河住民センター	洪草 2431	58-2111
城山分館	本組 956	58-2842
中組分館	中組 2424	58-2798
若山分館	若山 703-1	58-2675
おもご高齢者生活支援ハウス	洪草 2310	50-1633